

インターネット先（海外）で自分のノートパソコンからインターネットを利用する。（XP用）

- 1 ここでは、インターネット先にて、自分のパソコンを用いてインターネットを利用するための設定方法について説明します。
- 2 インターネットに接続するには下記の項目が必要となります。
 - 1) 接続方法の確立
 - 2) プロバイダーの選択(接続方法が電話回線の場合)と設定
 - 3) ブラウザの設定

接続方法の確立

- 1 インターネットに接続するには、インターネット先のネットワーク(LAN)を利用する方法と、電話回線を利用する方法とがあります。
- 2 インターネット先のネットワーク(LAN)を利用する場合
 - 2.1 ネットワークを利用する場合は、パソコンにネットワークカード(LANカード)を取り付け、設定を行った後、インターネット先のシステム管理者に最終設定を依頼します。
 - 2.2 ネットワークカードの設定はパソコン及びネットワークカードにより、異なりますので、個別の説明書により設定ください。パソコンによっては最初からネットワークカードが組み込まれているものもあります。
- 3 電話回線を利用する場合
 - 3.1 電話回線の確認
電話回線を利用するためには、最初に電話回線の確認が必要です。自分のパソコンとインターネット先の電話回線の相性が合わない相手先の電話交換機、又はパソコンの破損等が発生する恐れがあるため、事前に確認しておく必要があります。日本を出発する前に、前任者、あるいはパソコンショップ等にて調べ、必要ならば対応策を準備します。(電話回線用モジュラージャック形状、電話回線の種類等)

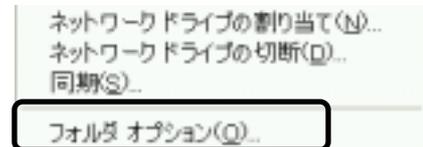
3.2 モデムの設定

電話回線が確認できたら、次にモデムの設定を行います。

- 1) デスクトップ画面から、「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル画面」が表示されたら、まず最初に説明画面を Windows Me 以前のものとなるべく同一のものにするために、画面設定を直します。
- 2) 「ツール」をクリックします。



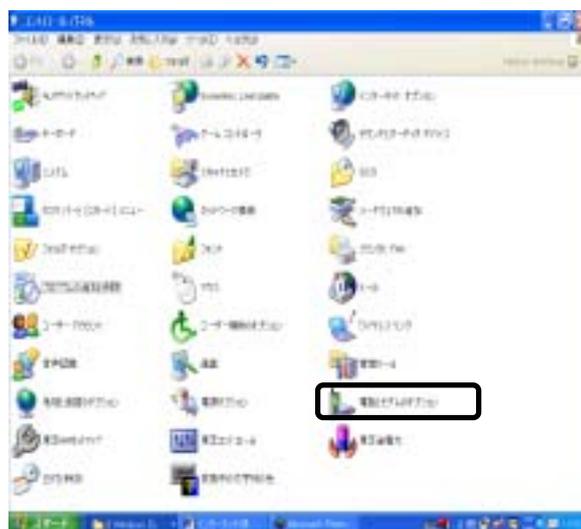
- 3) 「フォルダーオプション」をクリックします。



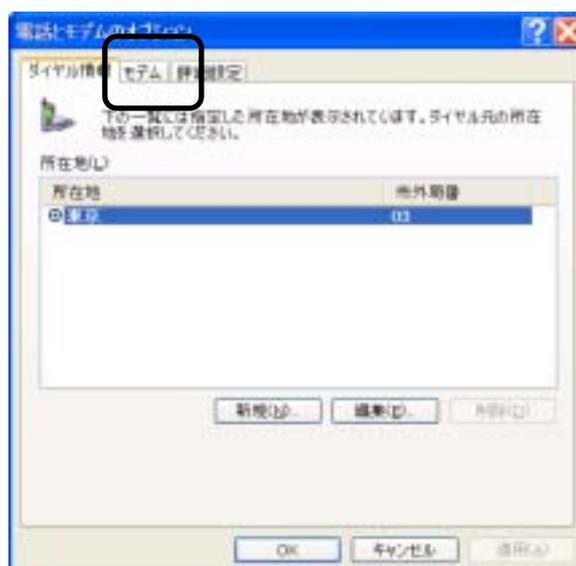
- 4) 「従来のWindowsフォルダを使用」をクリックします。



- 5) 「電話とモデムのオプション」をクリックします。

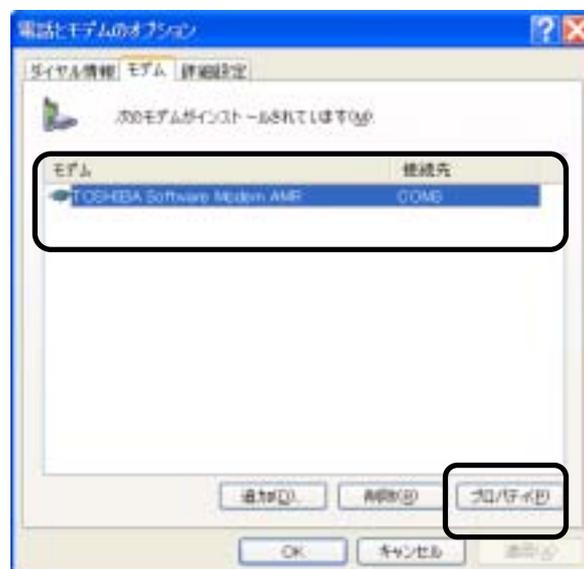


- 6) 「モデム」を選択します。



- 7) モデムのプロパティ画面が出たら、設定されているモデム名が、正しいか確認します。モデムがパソコン付属の場合はパソコンの説明書等を見て正しいか確認します。

次に、「プロパティ」をクリックします。



8) モデムが正しければ次の手順にて、モデムの動作状況を確認します。

(a) モデムが正常動作していることを確認した後、「モデム」タブをクリックします。

正常動作していなければ、9)項のチェックを行います。



(b) 最高速度が適切かどうか、パソコンの説明書で確認し、「OK」をクリックします

接続が不安定の場合、速度を少し遅く設定するとよくなる場合があります。



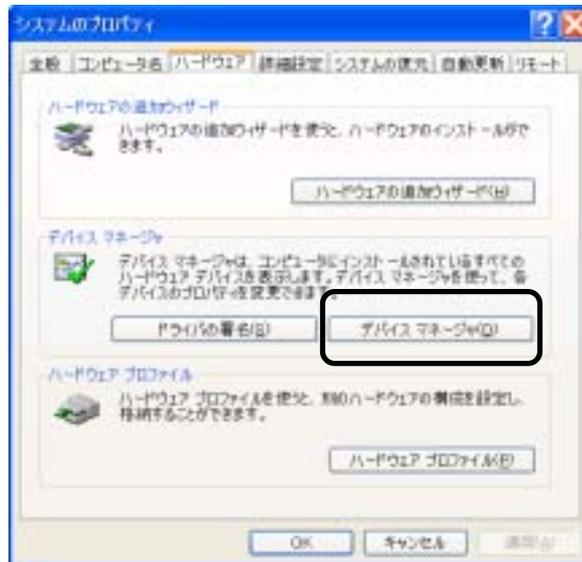
9) 正しく設定されていない場合は、下記の要領でモデムの設定を確認する必要があります。

(a) デスクトップ画面から、「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル画面」が表示されたら「システム」をクリックします。

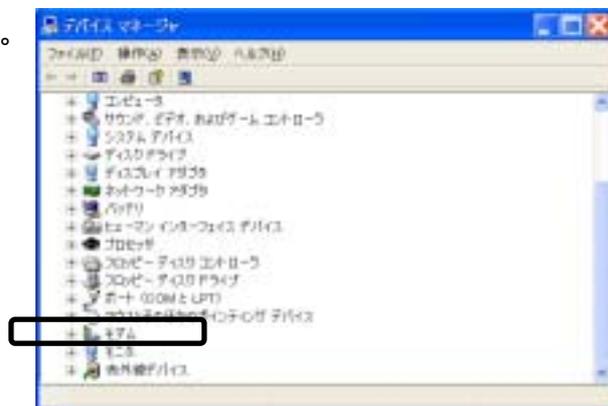
(b) 「ハードウェア」タブをクリックします。



(c) 「デバイスマネージャ」タブをクリックします。



(d) モデムをクリックします。



- (e) 該当の機種が正常動作しているか確認します。赤い「X」印が付いている場合は、異常を示しています。



異常の場合、該当の機種をクリックします。

- (f) デバイスが正常に動作しているか、確認します。正常ならば「OK」をクリックします。そうでない場合、その内容により、各々必要な作業します。（例：デバイス状態変更、ドライバの更新。。）



プロバイダーの選択と設定

1 プロバイダーの選択

1.1 プロバイダー

電話回線をインターネットに接続するためにはプロバイダーという、回線接続業者と契約する必要があります。インターン先でインターネットを使う場合、現地のプロバイダーを使う方法と、海外での接続サービスを行っている日本のプロバイダーを使う方法があります。一般的に現地のプロバイダーの方が割安になることが多いと思われませんが、契約を現地の言語にて行う必要があるため、接続までに時間が掛かり、また色々なトラブルも考えられます。推奨できる方法としては、海外での接続サービスを行っているプロバイダーと出発前に契約しておき、現地でそのまま継続して使用します。その後、安くて、使いやすい、現地のプロバイダーが見つければそこと契約します。日本のプロバイダーをキャンセルするかどうかは、インターンの期間、現地でトラブルに会った時に対応できるかによって判断します。

1.2 プロバイダーの選択

プロバイダーを選択するに当たって、一番最初に考慮すべきことは、インターネッ

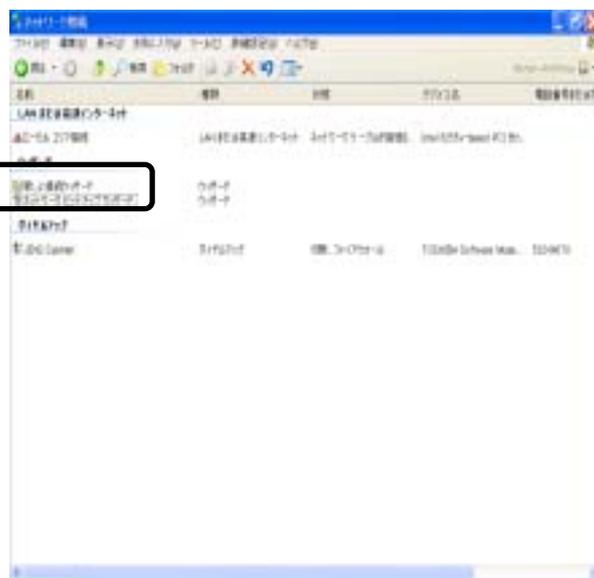
ト接続を行う場所の近くに、回線接続の窓口（アクセスポイント）があるかどうかです。アクセスポイントが遠いと、そこに接続するための電話料金が高くなるので、近くにアクセスポイントを持っているかどうかは、重要なポイントです。他に考慮すべきポイントは、料金、サービス等です。プロバイダー毎に、色々な料金体系とサービスを持っていますので、ご自分に合ったプロバイダーを選択ください。

1.3 ダイアルアップに必要な情報の設定

パソコンよりモデム経由にて、自動ダイヤルアップする際に必要な情報を設定します。

1) デスクトップ画面から、「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。「コントロールパネル画面」が表示されたら「ネットワーク接続」をクリックします。

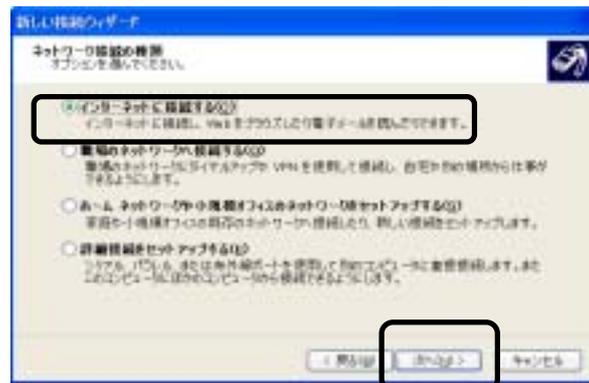
2) 「新しい接続ウィザード」をクリックします。



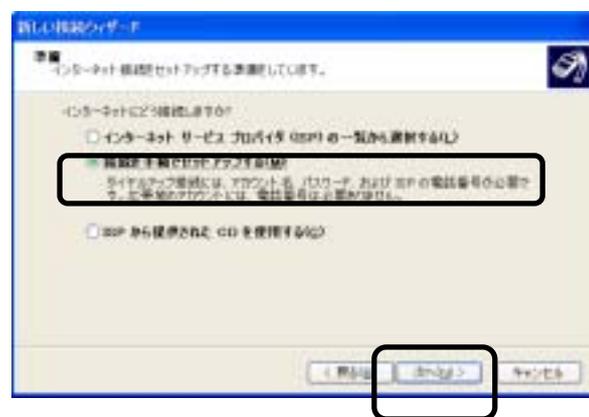
3) 「次へ」をクリックします。



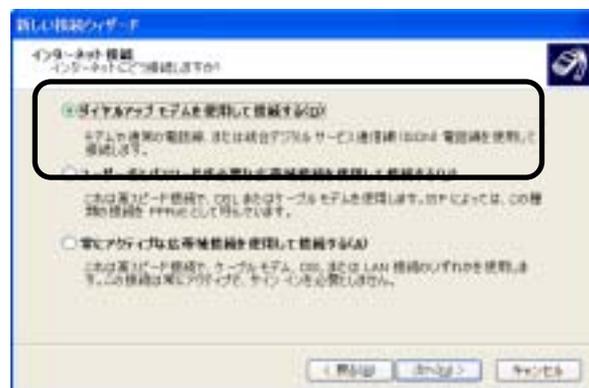
- 4) 「インターネットに接続する」を選択し、「次へ」をクリックする。



- 5) 「接続を手動でセットアップする」を選択し、「次へ」をクリックする。



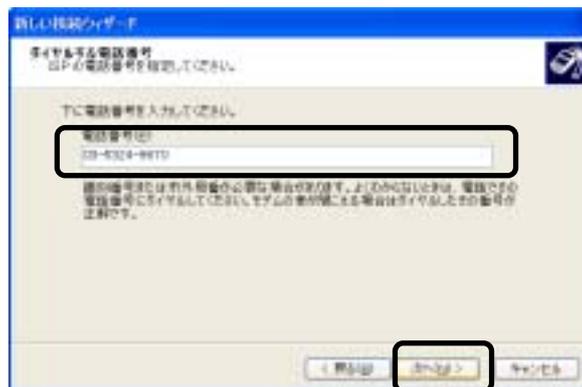
- 6) 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択し、「次へ」をクリックします。



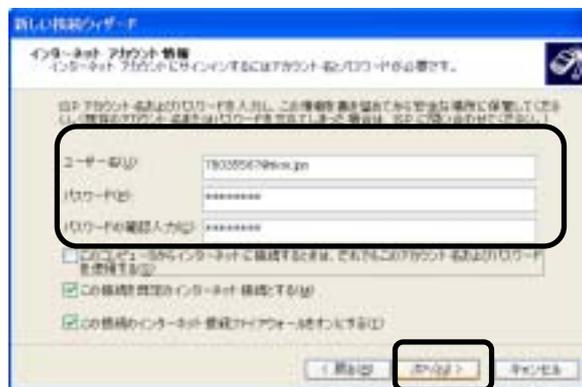
- 7) 「ISP名」に使用プロバイダと接続アクセスポイントがイメージしやすい名前を入力し、「次へ」をクリックします。
例：J E N S 東京



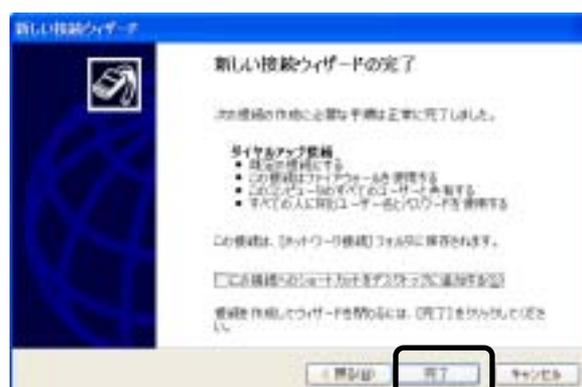
8) 接続プロバイダのアクセスポイントの電話番号を市外局番から入力し、「次へ」をクリックします。



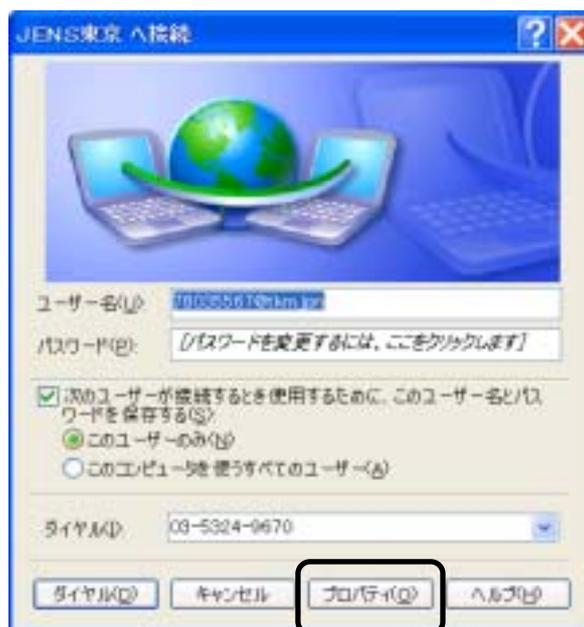
9) 「ユーザ名」と「パスワード」を入力し、「次へを」クリックします。



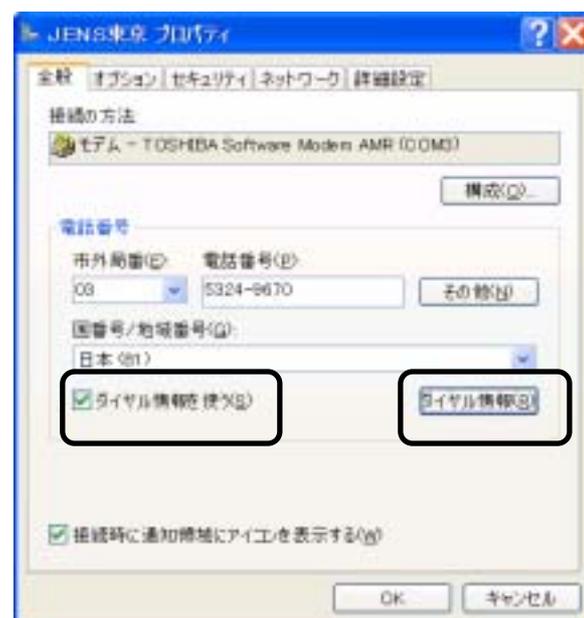
10) 「完了」をクリックします。



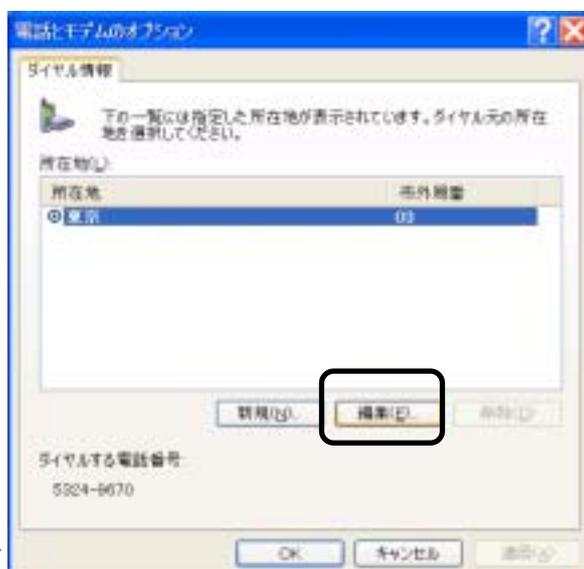
11) 「プロパティ」をクリックします。



12) 「ダイヤル情報を使う」をチェックし、「ダイヤル情報」をクリックする。



13) 「編集」をクリックします。



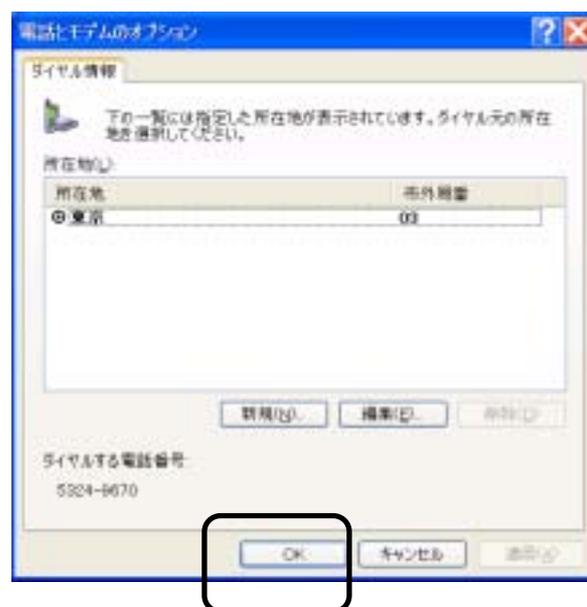
14) ダイヤル方式を選択します。

「トーン」と「パルス」の見分け方は、電話する時に、「ピッポッパ」という音がするものは「トーン」、「ルルル。。。」という音がするのは「パルス」です。選択後、「OK」をクリックします。

必要があれば、国、所在地と市外局番を変更します。



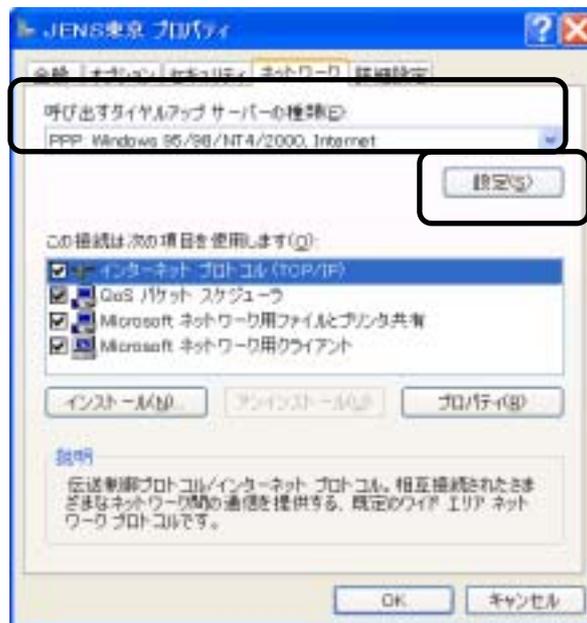
15) 「OK」をクリックします。



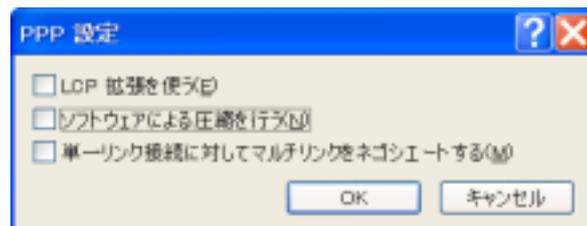
16) 「ネットワーク」タブを選択します。



- 17) 「呼び出すダイヤルアップサーバの種類」で「PPP: Windows95/98/NT4/2000, Internet」を選択し、「設定」をクリックします。

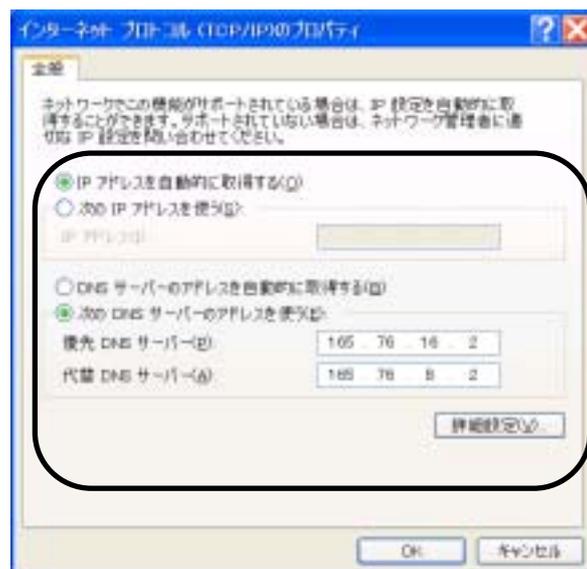


- 18) すべてのチェックを外し、「OK」をクリックします。



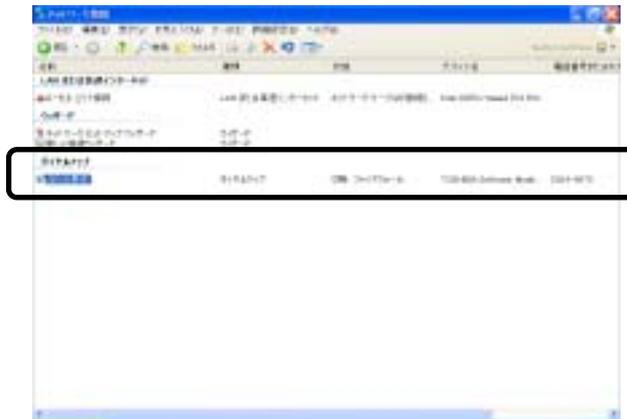
- 19) 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択後、「プロパティ」をクリックします。

- 20) プロバイダーよりの指示に従って、設定します。特に指定がない場合は、自動に設定します。最後に「OK」をクリックします。



21) 「ネットワーク接続」画面に今作成した新しいプロバイダーの「ダイヤルアップ」アイコンが表示されます。

次に、「ダイヤルアップ」アイコンをクリックします。



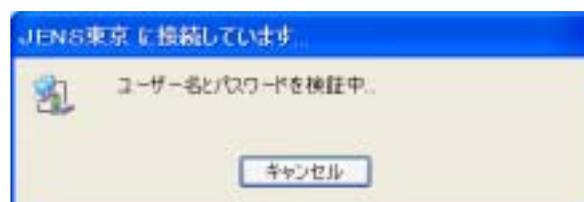
22) 「ダイヤル元」を選択して、「ダイヤル」をクリックします。



23) 「ダイヤル中」の表示が出ます。



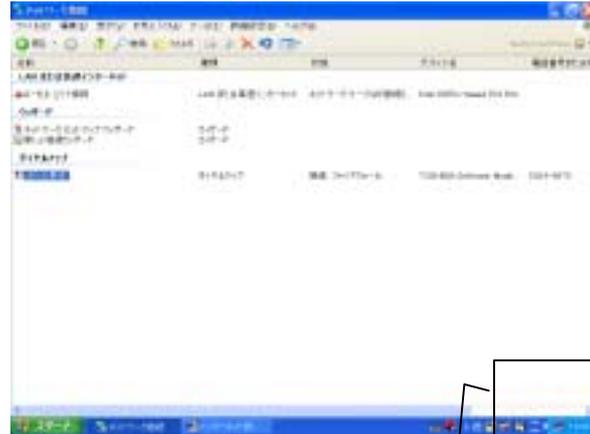
24) アクセスポイントに接続され、自動的にユーザー名とパスワードを確認されます。



25) 接続したことを示す表示が出ます。



26) 回線が接続されると、タスクバーの右端にパソコンのアイコンが表示されます。これで、回線接続完了です。



27) このアイコンを右クリックします。



右クリック

28) 「切断」をクリックし、回線を切断します。
アイコンが消えたら切断終了です。



ブラウザの設定

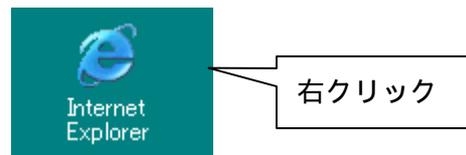
- 1 インターネットに接続するためには、インターネット接続用のソフトが必要ですが、このソフトのことをブラウザといいます。ブラウザには色々ありますが、代表的なものに下記の2つがあります。

- 1) Microsoft Internet Explorer
- 2) Netscape Navigator

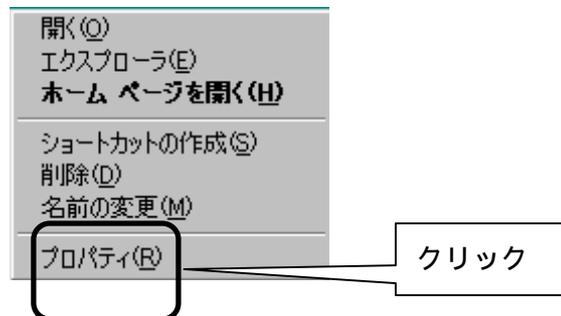
- 2 新しく windows 版パソコンを購入すると、「Microsoft Internet Explorer」が標準装備されています。ここでは、「Microsoft Internet Explorer」の設定について説明します。他のブラウザをご使用の場合は各ブラウザの説明に従ってください。

- 3 インターネット接続設定

- 1) デスクトップ画面で「Microsoft Internet Explorer」を見つけ右クリックします。



- 2) 「プロパティ」をクリックします。



- 3) 「接続」を選択します。



4) 電話回線を使用する場合は、「通常の接続でダイヤルする」を選択します。LANを利用する場合は「ダイヤルしない」を選択し、「OK」をクリックします。

5) 電話回線を使用する場合は、ダイヤルアップと仮想プライベートネットワークの設定で、該当のプロバイダーとアクセスポイントを選択し、「既定に設定」をクリックし、「OK」をクリックします。

